

ブロック	道北	道南	道東	道央
事業名	2011年度連携推進運動 「憲法アクションDays」	2011年度連携推進運動 「憲法アクションDays」	2011年度連携推進運動 「憲法アクションDays」全国一斉憲法議論～ 一人ひとりの幸せについて考えよう～	憲法アクションDays全国憲法議論 ～一人ひとりの幸せについて考えよう～
開催日時	5月13日 18:00～19:30	5月3日 5月11日	5月7日 10:00～15:30 5月8日 10:00～12:00	5月14日 15:00～17:20
開催地	北海道教育大学 旭川校	函館市内 函館大学	帯広市 とかちプラザレインボーホール 他市内各所	札幌市白石東地区センター
住所	北海道旭川市北門町9丁目	函館市高丘町51-1	帯広市西4条南13丁目	札幌市白石区
収容人数	250	300	430	200
外部協力者	靱岡 宏成氏 水間 倫氏 奥 かおる氏	青山 夕香氏(フリーアナウンサー) 永盛 恒男氏(函館大学教授) 加藤 宏樹君((社)函館JC理事長)	笑生 十八番 氏	宮脇 淳 氏(北海道大学教授)
コーディネーター	保村 幸二	佐藤 一英君(道南エリア担当副会長)	メンバー	メンバー
対外配布資料		憲法論点解説冊子	憲法論点解説冊子	憲法論点解説冊子
実施内容	憲法の様々な問題点を提起し、まずは、 憲法を知ってもらおう事を目的にディスカ ッションを開催する。	5月3日に函館市内にて「街角アンケート」 を実施し、そのデータを使用しながら5 月11日にフォーラムを開催する。	5月7日:「模擬国民投票」「憲法啓蒙活 動」 5月8日「フォーラム」 第一部 憲法講演 テーマ「憲法と暮らし のかかわり」 落語家 笑生 十八番 氏 第二部 憲法相談室 第三部 憲法クイズ	第一部 もっと知ろうよ！ LOVE ME- KENPOU(宮脇教授基調講演) 第二部 もっと話そうよ！ LOVE ME- KENPOU(グループディスカッション) 宮脇教授講評 アンケート・メッセージカード記入
本年度の工夫	ターゲットとしている若年層への呼びかけ を充実させる為に、大学構内で実施し、 大学教授、大学生をパネリストを招く。	「街角アンケート」でも市民へ関心を持っ てもらう様クイズ形式にして憲法に対する 啓蒙活動を行い、次世代を担う若者を中 心に関心をもってもらうべくフォーラムを 開催する。	北方領土返還要求署名運動も同時進行 で行う事で改めて身近な問題である事を 実感して頂く。	もっと話そうよ！ LOVE ME-KENPOUを 第2部テーマにし、憲法の視点から未来 を見てみるという参加者がグループで ディスカッションする場を提供し、自分 の口で憲法について議論することにより、 身近に憲法を感じていただきます。

ブロック	栃木	東京	山梨	神奈川
事業名	憲法タウンミーティング in とちぎ	2011東京憲法アクションDays あなたの「いえ」は大丈夫？ ～一人ひとりの幸せについて考えよう～	憲法アクションDays ぼくたち・わたしたちの日本国憲法	2011憲法タウンミーティング
開催日時	5月15日 10:00～15:00	5月15日 13時30分～15時30分	5月15日 10:00～13:30	5月12日 19:00～21:15
開催地	県内3ヶ所	東京都福生市 福生市民会館	小瀬スポーツ公園敷地内	座間ハーモニーホール
住所		東京都福生市福生2455	山梨県甲府市小瀬町840番地	神奈川県座間市緑が丘1-1-2
収容人数		260	17000	1300
外部協力者		長島明久(民主党衆議院) 西修氏(民間憲法臨調)		安倍 晋三 氏 櫻井 よしこ 氏
コーディネーター		コーディネーター 武藤 賢君(副会長) 司会 守重 碧朗 君(副委員長)		山田 宏 君
対外配布資料	憲法論点解説冊子	チラシ、ポスター 憲法論点解説冊子	憲法クイズ 憲法アンケート	ポスター・チラシ
実施内容		2名の外部協力者にそれぞれご講演をいただき、講演後にコーディネーターを入れて座談を行う。その後、会場からの質問も踏まえながら、質疑応答を行う	J1の試合ヴァンフォーレ甲府VS名古屋グランパスの試合前にパネルを用いて憲法の啓蒙活動を行う。	一部 櫻井よしこ氏講演会 二部 パネルディスカッション 安倍晋三氏・櫻井よしこ氏・ブロック会長佐野博之
本年度の工夫		政治の現場で憲法問題に携わる国会議員の他、大学教授を招く事で学問という分野から憲法の問題を別の角度から、参加者に対して伝える事が出来る。	クイズ・アンケートに答えると、その場で抽選でヴァンフォーレ甲府の選手サイン色紙やグッズがあたる。一般社団法人甲府青年会議所の行うフェイスペイントのイベントを共同で行います。	

ブロック	静岡	愛知	岐阜	三重
事業名	もし高校野球の女子マネージャーが 憲法の安全保障を考えたら	憲法タウンミーティング	「憲法って!？」 ～日常生活に身近な憲法～	憲法アクションDays 「日本の誇りを死守する為に」 ～一人ひとりの幸せについて考えよう～
開催日時	5月14日	5月15日 14:00～16:30	5月3日 10:00～15:00	5月8日 19:00～21:00
開催地	清水マリンパーク	愛知学院大学 100周年記念講堂	岐阜ファミリーパーク	松阪コミュニティ文化センター
住所	静岡市清水区日の出町10-80	愛知県日進市岩崎町阿良池12	岐阜県岐阜市山県北野997	三重県松阪市川井町字大坪690番地
収容人数	1500	1000	400	490
外部協力者	安倍 晋三 氏 山田 吉彦 氏(東海大学教授)	高橋 洋氏・木下敏之 氏 長谷川 岳 氏・三原じゅん子 氏 大村 秀章 氏	遠山司法書士 (行政書士事務所)	西村 眞吾氏(たちあがれ日本 衆議院議員)
コーディネーター	メンバー	鈴木 英敬 氏		メンバー
対外配布資料	憲法論点解説冊子 1000部	憲法論点解説冊子	憲法論点解説冊子 身近な憲法解説資料	チラシ・ポスター 憲法論点解説冊子 アンケート用紙
実施内容	第1部 日本国憲法について JC運動実践委員会が一般市民向けにパ ワーポイントを使用し説明する。 第2部 いい問題ですね!? ～クイズdeにっぽん～ 日本国憲法・安全保障をクイズ形式で一 般来場者全員に考えていただきます。 第3部 基調講演 講師:安倍 晋三 氏 日本の安全保障の現状や将来について 憲法に関連させてご講演いただきます。	地方自治を切り口に憲法を身近に感じて いただきます。	子育て世代を対象に憲法とは生活に身 近な存在であると感じられるクイズを 会場の設問ブースを回りながら憲法意識 の向上をします。	外国人参政権の問題を切り口として、参 加された方一人ひとりが憲法はどうある べきかを、日本人として真剣に考えるこ のきっかけとなる場を提供します。
本年度の工夫	憲法について現在、関心の高い安全保 障をテーマとすることで参加者に憲法問 題について身近に感じていただくことが できる。	政治家だけでなく、いろいろな立場での パネリストをお呼びしております。	親子で気軽に参加できる事業組み立て を行い。多くの人々に参加をしていただ き、憲法に対する意識向上を期待します	内容を昨年までの、ディスカッション形式 では無く、講演会形式とし会場からの質 疑応答時間を設けることにしました。

ブロック	福井	石川	富山	新潟
事業名	憲法アクションDays ～一人ひとりの幸せについて考えよう～	国民参加型の憲法議論の開催	憲法フォーラム 「わかりやすいことばで日本国憲法」 ～一人ひとりの幸せについて考えよう～	憲法フォーラム2011
開催日時	5月17日 16:30～18:30	5月3日 5月18日	5月15日 14:00～15:30	7月～8月中
開催地	仁愛女子短期大学	ショッピングモール及びイベント広場	ファボーレ1階 太陽の広場 (他9会場)	新潟ユニゾンプラザ
住所	福井市天池町43-1-1		富山市婦中町下轡田165-1	新潟市中央区上所2-2-2
収容人数	569		400 (1000)	448
外部協力者	渡部 陽一 氏		池田 香代子 氏(講師)	石破 茂 氏
コーディネーター	JCメンバー			坂井 加奈子 君 (NIIGATA Citizen委員会) 東村 里恵子 君 (NIIGATA Citizen委員会)
対外配布資料	憲法論点解説冊子	チラシ・アンケート	憲法論点解説冊子	憲法論点解説冊子
実施内容	一部 講演「あたりまえの生活ってすばらしい」 二部 憲法勉強会「そうだったのか！」 Cの学べる憲法勉強会」	・事業当日人の集まりやすい場所で、憲法に対するPRを行うと共に、アンケートやチラシの配布を行います。中身は国民が興味の引きやすいテーマを題材として(たとえば尖閣諸島の問題等・・・)4コママンガをチラシとして作成し、憲法に関心を持っていただくきっかけ作りをします。	普段、憲法に触れる機会が少ない私たちが、一人ひとりの幸せについて考えることで、日本国のあるべき姿を思い描き、憲法について考える機会として『わかりやすいことばで日本国憲法』を演題に、「世界が100人の村だったら」でおなじみの池田香代子氏を講師にお迎えし、ご講演いただきます。	講演 アクティブラーニング型教室
本年度の工夫	大学生を多く呼んで若い人への気づきを与える。分かりやすく、公平中立な解説を行う事で、憲法を身近なものとして市民参画意識を醸成する。	学生及び先生を巻き込み、わかりやすく憲法は我々の生活に常にかかわっているんだぞ、ということを提供すること。	憲法フォーラム開催以外に、啓蒙活動を県下9会場にて実施する点。	○全体の構築に関して 県民の方々に、「自分達自身一人ひとりの幸せについて考え、現在の憲法議論に向き合っていくこと」を目的としている事を、終始頭に置きメンバー全員で構築させて頂き、『憲法フォーラム2011』の計画となりました。そこで、例年に比べ、知名度のある講演者、並びに来場者参加型のアクティブラーニング型教室と、理解を深め、興味を持ち、向き合ってもらえる内容になるように構築しました。

ブロック	長野	滋賀	京都	奈良
事業名	憲法アクションDays in 長野 ～一人ひとりの幸せについて考えよう～	憲法タウンミーティング 「本当に大切なもの～一人ひとりの幸せ について考えよう～」	大学生本音トーク “就職問題から憲法まで” ～一人ひとりの幸せについて考えよう～	親子で楽しむ紙芝居 「学べる日本国憲法」
開催日時	5月8日 13:00～14:40	5月7日 14:00～16:00	5月15日 13:00～15:00	5月3日 11:20～15:45
開催地	長野市生涯学習センター 大学習室	近江八幡文化会館 小ホール	京都文教大学 同唱館	橿原市曲川町 イオンモール 橿原アルル
住所	長野市大字鶴賀問御所町1271-3 TOiGO WEST	滋賀県近江八幡市出町366番地	京都府宇治市槇島町千足80	橿原市曲川町7-20-1
収容人数	300	300	400	100
外部協力者	ザ・ニューズペーパー 福本ヒデ氏 眞次宏典氏(松本大学総合経営学部 准教授)	伊藤 真氏(弁護士)	佐藤 弘樹氏(ラジオパーソナリティ)	やまだ としお氏(笑顔文字詩書家)
コーディネーター		メンバー		委員会メンバー
対外配布資料	憲法論点解説冊子	憲法論点解説冊子	無	当日上演紙芝居の小冊子
実施内容	委員会による憲法プレゼンテーション 福本氏が扮する歴代総理などのキャラクターが眞次准教授に質問する憲法セミナー	第一部 伊藤氏による講演「憲法とは」 第二部 中島ブロック会長と伊藤氏による対談 「なぜ今、憲法なのか」「日常とのかかわりについて」「今、憲法で問題となっている事」	京都府内の大学より約20名の大学生をパネリストに招き、地元ラジオ局DJのコーディネートのもと、憲法しゃべり場を開催。就職難など大学生の共感を持てる題材から憲法の身近さを感じていただきます。	墨絵書家による憲法紙芝居の製作(オリジナル)の上演 テーマは、2題(①変えられない概念→国民主権・住民主権・義務、②変えられる概念→憲法改正)
本年度の工夫	風刺コトで人気のグループ「ザ・ニューズペーパー」から福本ヒデ氏をお招きし、楽しく憲法を学ぶ演出を行います。 また、当日の様相を収録して県内各地のケーブルテレビ局に放映をします。 ○講演内容に関して 国会議員の中でも「軍事オタク」等々と揶揄されることも多いようだが、時事問題でもあり、国民の関心も非常に高い領土問題を取り扱うため、石破先生に興味の持ちやすい入口⇒憲法問題とスムーズに感じて頂く内容です。	参加者募集を県内大学の教育学部や社会学部に注力する事で、事業に参加いただいた方だけでなく、その後の拡がりに期待できるよう動員を計画。憲法記念日5月3日に一般の意識調査を街頭アンケートで取ることにより、当日の参加者に一般の憲法に対する関心度をお見せし、危機感をもっていただく材料とする。	憲法しゃべり場に参加したJCメンバーと一般市民を含む視聴衆が、憲法は身近なところにあると感じ関心を持っていただけることを目的とします。	小学生には、学校等での学習の前に「憲法＝大きなルール」の予備知識、その親世代には、「生活と関わりのある憲法」と「憲法は変えられる＝改正」についての再認識をもっていただける内容での伝えを考えています。

ブロック	大阪	兵庫	和歌山	岡山
事業名	大阪！！憲法タウンミーティング ～一人ひとりの幸せについて考えよう～	憲法アクションDays in 兵庫 ～一人ひとりの幸せについて考えよう～	ラジオで聴く憲法 ～一人ひとりの幸せについて考えよう～	憲法タウンミーティング ～一人ひとりの幸せについて考えよう～
開催日時	5月3日	5月3日 13:30～15:30	5月3日 9:00～10:00・13:00～14:00 5月8日・5月10日 13:00～14:00	5月8日 14:00～
開催地	クレオ大阪中央	神戸市立垂水勤労市民センター	バナナFM・ビーチステーション FMマザーシップ・和歌山放送 FM TANABE	倉敷市民会館大会議場
住所	大阪市天王寺区上汐5-6-25	神戸市垂水区日向1丁目5-1 レバンテ垂水2号館3・4階	和歌山市塩屋5-5-43 西牟婁郡白浜町2397-3 有田郡湯浅町湯浅2026-5 和歌山市湊本町3-3 田辺市宝来町8-21	倉敷市本町17番1号
収容人数	1000	500	997000	320
外部協力者	遥 洋子氏 平松 邦夫氏(大阪市長)	一色正春氏(元海上保安官) 安里繁信氏(シンパホールディングス会長) 青山繁晴氏(独立総合研究所代表)	小林睦郎氏 中川智美氏(ともに和歌山放送)	
コーディネーター	中村 鋭一 君 (ブロック会長)	島田 大 氏(ABC朝日放送アナウンサー)		
対外配布資料	統一アンケート		憲法論点解説冊子・番組チラシ	
実施内容	憲法の現状問題をテーマにし、コーディネーターに説明・解説して頂いて、各パネリストにテーマの問題について個々の意見を話して頂く。本事業では4つの問題をテーマにテーマごとに意見を述べて頂き、府民・市民の方々に現状の憲法問題を考えて頂ける機会をつくる。		憲法に関するラジオ番組を収録し、県内5つのラジオ局で放送します。	講演・アトラクション
本年度の工夫	5月3日(火) 憲法記念日に行うことで、多くの来場者に来て頂けるように、大阪府内の各大学(95校)と大阪市内各種団体(現状13団体)にポスター配布・掲示、会場の最寄りの駅内に掲示して頂けるように依頼している。また、当日までに、来場者数が把握できるようにメールにて事前登録のシステムを行う。		ラジオで憲法に関する番組を放送することで、普段憲法に触れることの少ない県民に皆さまに、より簡単に憲法に触れる機会をつくる事が出来ます。さらに憲法への意識高揚も期待出来ます。	

ブロック	広島	山口	島根	鳥取
事業名	親子で楽しく憲法を学ぼう	憲法タウンミーティング	第4回憲法タウンミーティング	諸外国と憲法
開催日時	5月15日 10:00～15:00	6月26日 13:30～16:00	5月8日 14:00～15:40	5月3日 9:00～12:00
開催地	福山市中央公園	デザインプラザ防府2F イベントホール	松江市市民活動センター5F 交流ホール	東部・西部・中部
住所	広島県福山市霞町1-10-1	山口県防府市八王子2丁目8番9号	松江市白濁本町43番地 STICビル	
収容人数	30000	400	200	
外部協力者		安倍 晋三 氏	植松 健一 氏(島根大学準教授) 原 市氏(弁護士)	
コーディネーター			竹内 駒英氏(フリーアナウンサー)	
対外配布資料	憲法論点解説冊子		アンケート	
実施内容	<p>大人たちが憲法のことを知り、子どもたちに正しく伝え理解してもらいます。</p> <p>①スタンプラリー: 現行の日本国憲法に関する論点と解釈についてのQ&A方式のクイズ(計5問)に答えてもらい正解者には記念品を贈呈します。</p> <p>②約10分の憲法に関するVTRを上映します。日本国憲法の前文を小学生にもわかる内容にします。</p> <p>③憲法に関する資料(憲法はじめの一步)を会場内にて配布します。</p> <p>④けんちゃん、ぼうちゃんのキャラクターを会場内に配置します。</p> <p>⑤中央公園ステージで憲法をPRします。楽しい内容で子どもたちに憲法をPRします。</p>	<p>第一部 講師による分かりやすい講演</p> <p>第二部 来場者参加型ディスカッション</p>	<p>国民投票法について説明</p> <p>論点冊子から3点テーマを与え、身近な出来事を述べてもらう他(予定)</p> <p>まとめで、10年先について考えること、幸せについて判断してもらいたいことを述べてもらう(予定)</p>	<p>憲法に関するクイズを街頭で実施し、国民投票法に関するアンケートも行う。</p>
本年度の工夫	<p>・ばら祭のびよっこ広場のブースを使用し、憲法に関する事業です。より多くの方に興味を持って頂けます。・親子で楽しみながら憲法について知って頂くことが出来ます。・来場者にアンケートを頂くことで目的の達成度を測ります。</p>	<p>① そもそも憲法とは何なのかということを考えてもらい、国民の権利を守る為の憲法を自分の為ではなく国民の誇りとして考えてもらえるよう導く。② 憲法を理解してもらい興味を持ってもらうために、普段憲法と触れ合う機会の無い県民の皆様に参加をして頂き、より多くの県民に憲法議論の機会を提供する。③ 国民に求められている責任の自覚を促す。</p>	<p>何か一つでも理解していただけてもらえるようなお話の内容にしていくところで、なるべく身近な話題ができるテーマを用意する予定。なるべく意思表示カードを使いたい。</p>	<p>外国の憲法改正の状況や外国の憲法の条項を親しみやすいように、市民の皆さんにクイズ形式で出題する。</p>

ブロック	香川	愛媛	高知	徳島
事業名	国民参加型憲法タウンミーティング	全国一斉国民参加型 憲法タウンミーティング	『憲法ってなあに？』みんなに届け！！ 空からふってくる 感変える(かんがえる)種の贈り物	2011年度 憲法タウンミーティング
開催日時	5月8日 14:00～16:00	5月8日 13:00～15:00	5月15日 13:00～16:30	5月15日 14:00～16:00
開催地	高松テルサ ホール	愛媛県女性総合センター 多目的ホール	高知県立ふくし交流プラザ	北島フジグラン1Fイベントスペース
住所	高松市屋島西町2366-1	愛媛県松山市山越450番地	高知市朝倉戊375-1	板野郡北島町鯛浜字西ノ須174
収容人数	511	300	500	200
外部協力者		池田 実 氏(日本大学法学部教授)	山本 明紀 氏	保育士ヒーロー ブレイク氏
コーディネーター	高橋 顕児 君 (メンバー)	帽子 大輔 君 (副会長)		松浦 明人 氏
対外配布資料	チラシ、ポスター、小冊子			式次第・注意事項 統一アンケート・憲法基本資料
実施内容	憲法をわかりやすく解説し、憲法の在り方や身近にある問題、一人ひとりの幸せを考えることで憲法の理解を深めます。	プロジェクトによる憲法説明 講師講演	参加者体験型講演会(講師:山本明紀氏)「憲法ってなんながやろうね?」という意識を持って頂けるよう参加意識と興味を引き出すように、権利と義務について考える。勤勉、勤労、納税の国民3大義務をテーマに、提示する例題・質問に対し、皆で考え発表する機会を与え、自分の考え方との相違や同意を生み出し、講義後も一人でも多くの参加者が家に帰り、家族・職場・友人たちと憲法について話題にして頂き答えがすぐに出ない、考える種(機会の創出)の届け物を第一に講義を開催。	コーディネーター、世代別に各一名ずつ他団体組織の代表・役員の方や大学生・社会人の方々などで構成されたパネリストによるパネルディスカッション形式で行い、その中で憲法の基礎知識を題材にしたイベントも行い、より分かりやすくパネリスト・参加者などに憲法についての関心や知識を深めてもらう。とくに憲法に知識のない方でも分かりやすく解説していきます。
本年度の工夫	まずは憲法を理解しようと、わかりやすく憲法解説をしながら論点に目を向けていきます。また、ご来場者の意思を議論の場に反映させるために挙手や拍手などで反応を憲法議論に盛り込みます。広報ではメディアのPRだけでなく、開催地主要場所にて手配りでチラシを配り、熱意を直に伝えていきます。	ゴールデンウィークを外すことにより動員の	傍聴する(知徳)だけではなく、体験できる(体徳)ような事業を目指し、理解(知識)を増やすことを主に置かず、興味を持ってそれをもって帰ってもらえるように工夫しております。講義以外の内容として、グループ参加形式で、問題(クイズ形式)を相談しながら解いていく形式で行い、答え合わせを行わない、あくまで、発表を聞き他の参加者の意見について考えることを目的とし、このことにより、日本国憲法の事や日本人として、感じ、考える、あわよくば、意識が変わるきっかけのような効果を考えております。	●事業目的 市民参加型の憲法タウンミーティングを行う事により、日本国憲法に日頃馴染みが浅い地域の方々へ知識や関心を深め、周知することにより、日本人、また国際人として誇れる日本の民主主義を醸成させる事を目的とする。●本年度の工夫 パネリストに教授・政治家などの『有識者』ではなく、年代別で若年層も含めたより国民目線に近い方を選び、できるだけ多くの地域の方々へ憲法を知っていただく事ができる。フジグラン北島という幅広い年代層が集まる会場で開催することにより多数の参加動員が見込める。またJCの活動を多くの地域の方々に発信できる。

ブロック	福岡	大分	佐賀	長崎
事業名	憲法アクションDays 「感じてみようよ！憲法」 ～一人ひとりの幸せについて考えよう～	憲法アクションDays ～一人ひとりの幸せについて考えよう～	憲法タウンミーティング 知ろうよ憲法！！作ろうよ！！ よりよい生活！！よりよい日本！！	国民参加型憲法タウンミーティング 「知っとつと？みんなの憲法」 ～一人ひとりの幸せについて考えよう～
開催日時	5月15日 13:30～15:10	5月14日 13:00～16:00	5月3日 11:00～13:00 5月7日 12:00～12:40(放送)	5月3日 14:00～16:00
開催地	リバーウォーク北九州 エナジーコート	別府大学	イオンショッピングタウン大和	アルカス佐世保 中ホール
住所	北九州市小倉北区室町1-1-1	大分県別府市北石垣82	佐賀県佐賀市大和町尼寺3535	佐世保市三浦町2-3
収容人数	1000～2000	400		500
外部協力者	安倍 晋三 氏(コメンテーター) 現役大学生4名:NPO法人ドットジェイピー福岡支部長及びスタッフ	池田 実 氏(日本大学法学部教授)	中島 大作 氏・西依 義規 氏 増田 貴幸 氏・小原 晴義 氏 高校生2名(ユナイテッドチルドレン)	丸山 和也氏(講師・コーディネーター)
コーディネーター	トギー氏(コーディネーター) 総合司会 メンバー	奈良 剛史郎 君 (会長)		メンバー
対外配布資料	論点解説冊子・アンケート ポスター・チラシ	憲法論点解説冊子・アンケート		チラシ・憲法論点解説冊子
実施内容	・安倍代議士による、憲法の歴史的背景と概要説明(10分)・5テーマについて議論(各テーマ15分)模擬国民投票(観客)⇒パネリスト各自意見⇒安倍代議士見解コメント・安倍代議士による、憲法総括(15分)	論点冊子から数点テーマを絞り、議論頂く	大規模商業店舗におけるら公開ラジオイベント形式で、より広範囲に憲法に対する意識啓発が可能になります。	丸山和也先生(弁護士)をお迎えして、憲法についての基本的事項を民間目線で分かりやすくお話しいただき、地元佐世保市在住の、高校生、大学生、婦人会、YEG青年部の4名のパネリストにもご登壇頂き、平和をテーマにして現行憲法の検証、提唱、行動そして感想の順で展開し、来場者の意識醸成に繋がります。
本年度の工夫	パネルディスカッションに大学生を起用することで、施設に来訪した同世代の若い人たちに刺激を与え、憲法を考える機運も高まります。・コーディネーターに知名度の高いラジオDJを起用することで、イベントとしての楽しさや親しみやすさが加わり、市民にとって憲法がより身近に感じられるようになります。・模擬国民投票を取り入れることにより、観客がその場で自ら考えることが期待でき、事業に一体感が生まれます。	大学生を多く呼んで若い人への気づきを与える。現役議員も交え、討論する事で、意識の醸成に繋げる。		広報活動を新聞各社、県内テレビ局及びケーブルテレビへ積極的にいき周知しておきます。一人でも多くの関係者の参加に繋げるために護憲・改憲ではない話題に設定しました。国民投票法の投票者が18歳以上の対象に対応し学生に参画頂きます。誰でも知っている和める講師の方をお招きすることで誰でも来場できる環境に配慮しました。

ブロック	熊本	宮崎	鹿児島	沖縄
事業名	憲法アクションDays in 玉名	憲法ってなあに?! 「実は私たちに身近な憲法を知ろう」	憲法タウンミーティング 「私たちが描く日本の未来」	県民一斉憲法クイズ
開催日時	5月3日 13:00～15:00	5月15日 15:00～18:00	5月8日 10:30～12:30	5月3日～18日
開催地	玉名市民会館	みやざきアートセンター	鹿児島中央公民館	無し
住所	熊本県玉名市岩崎152番地2	宮崎市橘通西3丁目3-27 アートセンタービル3階内「太陽の広場」	鹿児島市山下町5-9	
収容人数	800	100	650	1400
外部協力者	鈴木 圭樹 氏(熊本大学法学部教授) 一般参加者3名(高校生女性・大学生男性・主婦)		保岡 興治氏(元法務大臣)	
コーディネーター	緒方 由美 氏 (タレント)		福永 憲章 氏 (弁護士)	
対外配布資料	憲法論点解説冊子	憲法論点解説冊子	憲法論点解説冊子	
実施内容	憲法の基本を学ぶ「おがっちの教えて憲法！」	硬く考えがちな憲法を分かりやすく知っていただくために子どもでもわかるイベント方式で憲法事業を開催します。 アニメーションの映像「けんぼう物語」 憲法授業「PPTを使って説明」 クイズ「分かりやすい憲法のクイズ」 最後に大人にはアンケートに答えていただき子どもには感想文を書いてもらいます。 感想文の内容は事業後、HPIにて公開	第一部 講演「私たちの幸せと国家のあり方」 第二部 県民3名を交えてのパネルディスカッション	県内新聞紙上にて3択形式(全10問)の「県民一斉憲法クイズ」を出題し、多くの市民が気軽に憲法に触れることができます。QRコードを記載したポスターを作成し各地域の人たちが集まる場所や学校に掲示してクイズ参加を促進する事で参加を促します。沖縄ブロック協議会のHPやJCCSを活用してJC会員のクイズ参加も促進しています。
本年度の工夫	①タレントである緒方由美氏に参加してもらうことで、若者を中心とした集客がしやすくなる。② 一般人を質問者として参加してもらうことでより視野の広い質問を受けることができる。③ 護憲派改憲派のどちらも呼ばないことでより一般的な憲法議論を展開し、憲法に関する意識の向上に努める。④ 高校や玉名駅でのピラ配り等により若者を中心とした集客が期待されること。	本年はあえてパネルディスカッションという手法をとらず、委員会メンバーのみで運営することでメンバーにも憲法に対する認識を深く持ってもらい子どもにも理解できる分かりやすい憲法事業を開催するにあたって不特定多数の方に日本の根本的な価値観を表すものを知っていただくことが出来ると考え1人でも多くの方に日本国憲法が国の基盤であることを意識していただきます。	護憲改憲ありきで進めるのではなく講演に関しても、中立な立場で話していただく。パネルディスカッションでは、憲法にあまり詳しくない方も含め参加して頂き、より日常生活に関わりのあることについて意見を頂く。また設問によってはクイズや択一形式にして、会場の参加者にも色紙を使って参加して頂く。	工夫:市民が「参加して」憲法の理解を深める手法を取り入れる。効果:クイズを通して市民が憲法の仕組みを「考える機会」を作り出す。工夫:高校や大学などにもポスターの掲示協力を呼びかける。効果:国民投法の投票権が「18歳以上の日本国民」であることを知ってもらう。工夫:クイズの解答を集計して県民の憲法認知度を分析する。効果:分析結果をもとに今後の事業展開を検討してさらなる憲法の市民浸透に繋げる。